

CHALLENGEDAY

チャレンジデー2018 実施の手引き



笹川スポーツ財団
SASAKAWA SPORTS FOUNDATION

目次

1	年間スケジュール	1
2	開催概要	2
3	基本情報の入力・更新	3
4	チャレンジデー実施に向けた準備	4
5	対戦相手との交流	4
6	チャレンジデー当日の集計・報告	5
7	チャレンジデーレポート（実施報告）の提出	6
8	チャレンジデー実施自治体へのサポート	7
9	助成金の申請	9
10	事業完了報告書の提出	14
11	全国共通イベントの実施	15
12	ワールドチャレンジデーへの参加	16
13	オリンピック・パラリンピアン等の派遣	16
14	チャレンジデーアワードの授与	17
15	まちづくりセミナー・メダル認定証授与式への参加	19



1 年間スケジュール

日 程	事 項	備 考
2018 年		
2 月 9 日	チャレンジデー実施の申込締切	
2 月中旬	自治体ページへ人口等の入力・更新	
2 月 28 日	広報グッズの申込締切	
3 月上旬	実施自治体数・対戦組合せの発表	
3 月 5 日	ワールドチャレンジデー実施の申込締切	
3 月 5 日	オリンピック・パラリンピアン等の派遣の申込締切	
3 月 30 日	助成金申請書の提出締切	
4 月上旬	広報グッズの発送	
4 月下旬	助成金決定通知書送付	
5 月 11 日	助成金の振込み	日にちが前後する場合があります。 領収書を提出してください。
5 月中旬	全国共通イベントの申込締切	
5 月中旬	集計システムテストの実施	
5 月 30 日	チャレンジデー2018 の開催	SSF に 3 回集計結果を報告 13:00/17:00/22:00
6 月上旬	全国共通イベントの結果報告	アワードも報告します。
6 月 22 日	チャレンジデーレポートの提出締切	
8 月下旬	まちづくりセミナーの開催	会場：都内 申込締切：8 月中旬を予定
10 月 15 日	完了報告書の提出	
10 月～12 月	確定通知書および返還依頼通知書の発送	
2019 年		
1 月～2 月	チャレンジデー継続実施の意向確認	

2 開催概要

1. 基本ルール

- 1) 開催日 2018年5月30日(水) 午前0時～午後9時
- 2) 対戦方法 人口規模がほぼ同じ自治体同士で、15分間以上続けて運動やスポーツを実施した住民の参加率(%)を競い合います。
- 3) 人口 2018年2月1日(木)現在の人口を使用する。
住民基本台帳登録者数(外国人登録者含む)。
- 4) 対戦相手 当財団が抽選で対戦相手を決定します。双方の合意により、特定の自治体同士で対戦を希望する場合は、その要望を優先することができます(姉妹都市、友好都市関係同士など)。
- 5) エール交換 対戦相手の決定後、実行委員会の代表(首長)によるエール交換を行ってください。エール交換は電話やインターネットを利用したテレビ電話などの様々な方法があるため、対戦相手と相談のうえ決めてください。
- 6) 集計 チャレンジデー当日は、当財団に参加率を3回報告します。報告する時刻や方法などの詳細は後述(p.5参照)します。
- 7) 旗の掲揚 対戦に敗れた自治体はチャレンジデーの翌日から1週間、相手の自治体旗を庁舎のメインポールに掲揚してください。

2. 参加方法

- 1) 対象 規定時間内にチャレンジデーの実施自治体内にいる全ての人に参加対象となります。年齢・性別による除外規定は設けないこと。住民以外にその地域で働く人、通学・通園する人、観光客なども参加の対象となります(参加率が100%を超える場合もあります)。
- 2) 時間 午前0時から午後9時までの間であればいつでも参加可能です。
- 3) 場所 実施自治体内であれば、自宅や学校、職場、スポーツ施設、広場など、どこでも参加可能です。
- 4) 種目 参加種目に制約はありません。運動やスポーツであれば、どのような種目でもかまいません。多くの人を楽しんで参加できるような、ユニークで特徴的なプログラムや、イベントを企画・実施することで参加率も上がります(地元発祥のスポーツ、郷土の踊り・ダンスなど)。**ただし、学校の体育・運動部活動、普段行う農作業は除きます。**
- 5) 報告 チャレンジデーに参加したことを各自治体の集計センターに報告します。

3 基本情報の入力・更新

1. チャレンジデー2018 実施自治体ページ

1) ログイン

チャレンジデー実施申込み後、各自治体に「チャレンジデー2018 実施自治体ページ」のログイン ID とパスワードを提供します。

ログイン ID とパスワードは大切に保管してください。

※今年度より全自治体の ID が変更となっておりますのでご注意ください。



2) 基本情報

各自治体の基本情報（首長、自治体情報、担当者連絡先など）を入力・更新してください。

入力締切：2月中旬

※登録完了後、「担当者 E-mail1」に登録したメールアドレス宛に、確認メールが送信されますので確認してください。

※基本情報に変更が生じた際は、都度更新してください。

3) 大会情報

2018年2月1日付の人口（住民基本台帳登録数：外国人登録者含む）を入力してください。姉妹都市などの特定の自治体と対戦希望がある場合は、事前に双方で合意の上、対戦希望自治体を入力してください。

入力締切：2月中旬

※登録完了後、「担当者 E-mail1」に登録したメールアドレス宛に、確認メールが送信されますので確認してください。

2018年2月1日付の人口に基づき、各自治体を以下6つのカテゴリーに分類します。

カテゴリー	人口
1	4,999 人以下
2	5,000～9,999 人
3	10,000～29,999 人
4	30,000～69,999 人
5	70,000～249,999 人
6	250,000 人以上

4 チャレンジデー実施に向けた準備

1. 実行委員会の設置 広報活動、関係団体への協力依頼、当日のイベント内容などを決定する組織として、実行委員会を設置します。各自治体の行政担当者の他、スポーツ団体、教育機関、障害者・高齢者団体、自治会など多様な組織が関わることが重要です。実行委員会の代表は、各自治体の首長が就任してください。
2. テーマ・目的の設定 チャレンジデーは、運動やスポーツの習慣化を図るきっかけづくりのイベントです。健康意識や運動・スポーツに対する意識の向上を図るうえでも、テーマ・目的を明確に設定してください。
3. プログラムの企画 地域の特徴を活かしたプログラムや、オープニング・ファイナルイベントなど、住民の関心と興味を引くイベントを企画しましょう。チャレンジデーをきっかけに、スポーツ団体やプロスポーツチームとの協力関係を深めることで、様々な教室やイベントを開催できます。事業所や学校単位で全国共通イベント（p.15 参照）に参加する自治体もあります。
4. 広報活動 地域住民にチャレンジデーを知ってもらうために、広報誌、TV コマーシャル、ラジオ、新聞などのメディアを利用して、チャレンジデー当日のイベントや参加方法について周知することが重要です。ユニークな形で広報活動を行った自治体は、ぜひ広報アイデア賞（p.18 参照）へ応募してください。

5 対戦相手との交流

1. エール交換（4～5月）

実行委員会の代表（首長）同士が、事前に電話やインターネットを利用したテレビ電話などを通して、お互いの健闘を誓いあいます。エール交換を行うことにより、目標や当日予定しているプログラムなどの情報交換ができ、自治体間交流のきっかけにもなります。ゆるキャラで楽しいエール交換をしたり、特産物を交換している自治体もあります。



2. 自治体旗の掲揚（チャレンジデー実施後）

チャレンジデー当日までに、対戦相手と旗を交換してください。対戦に敗れた自治体は、庁舎に対戦相手の自治体旗を掲揚していただきます。勝利した自治体も、対戦相手の健闘を称え、相手の旗を掲揚している自治体も多くあります。

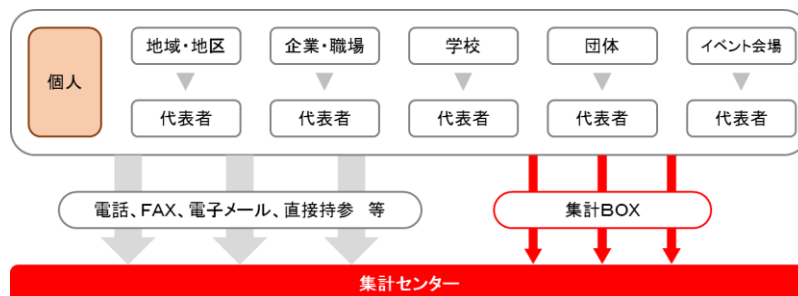
6 チャレンジデー当日の集計・報告

1. 集計センターの設置 当日の参加者数を集計するため、集計センターを設置してください。

2. 参加者から実施自治体への報告

1) 報告方法

電話や FAX、電子メールなどで集計センターに報告してください。スポーツ施設や公民館などに集計 BOX を数ヵ所設置し、自治体独自で作成した報告用紙を投函してもらってもかまいません。グループ単位（学校や事業所）の場合は、代表者が取りまとめて集計センターに報告するケースもあります。



2) 報告締切

午後 9 時 30 分

以下 3 点について、あらかじめ住民や関係者に周知してください。

- ・チャレンジデーは午後 9 時に終了しますが、**住民の報告締切は午後 9 時 30 分まで**とします。以降の参加報告は無効です。
- ・参加報告は「1 人 1 回（票）」です。**ダブルカウントは禁止**です。
- ・参加報告はチャレンジデー当日のみ有効です。**チャレンジデー当日よりも前に、事前登録や事前報告を募り、当日の運動・スポーツの実施有無を確認せずに参加報告としてカウントすることは禁止**です。

3. 実施自治体から笹川スポーツ財団への報告

1) 報告方法

「チャレンジデー2018 実施自治体ページ」から行います。

※5 月中旬に正しく報告できるかテストを行います。操作方法やテスト日程などの詳細は後日、改めてご案内します。

2) 報告時間

第 1 回報告締切 午後 1 時

第 2 回報告締切 午後 5 時

最終報告締切 午後 10 時

※1 自治体でも報告が遅れると公表できません。時間厳守をお願いします。

3) 結果発表

進捗結果発表① 午後 1 時 30 分（予定）

進捗結果発表② 午後 5 時 30 分（予定）

最終結果発表 午後 11 時（予定）

※チャレンジデー当日に当財団のウェブサイトで公表します。

※最終結果の発表は全国の報道機関に FAX で一斉にお知らせします。

※最終結果発表までに担当者に連絡することがあります。

7 チャレンジデーレポート（実施報告）の提出

1. チャレンジデー2018 レポート

各自治体からチャレンジデーの実施報告を取りまとめ、チャレンジデー2018 レポートを製作します。各自治体の基本情報（首長、自治体情報、担当者連絡先など）の一部をはじめ、当日のプログラムや実行委員会の構成団体などを掲載するため、所定の様式でチャレンジデーレポート（実施報告）の提出をお願いしています。



2. 提出要領

1) 提出期日

6月22日（金）

2) 提出方法

「チャレンジデー2018 実施自治体ページ」から提出します。

3) 提出物

①チャレンジデーレポート（実施報告）(Excel、A4 サイズ 2 枚程度)
様式については、改めてお知らせします。

②写真（原則 5 枚）

- ・ JPEG、PNG、GIF のいずれかのデータ
- ・ 一部の写真をチャレンジデー2018 レポートに掲載します。
- ・ 提出する写真にタイトルを付与してください。
- ・ オリンピアンやパラリンピアン、トップスポーツ選手やその他著名人が参加した場合は、該当者を撮影した写真も提出してください。
- ・ できる限りチャレンジデーのポスターや横断幕などが写るように撮影してください。

③チャレンジデーチラシ（最大 3 枚まで）

- ・ Word、Excel、Power Point、PDF、JPEG、PNG、GIF のいずれかのデータ

写真の例 ※チャレンジデー2018 のチラシに掲載された写真です



ふれあい運動会



ノルディックウォーキング



スポーツ吹き矢体験教室



必勝祈願：風船飛ばし



オープニング：健康体操



道の駅で楽しくダンス

8 チャレンジデー実施自治体へのサポート

チャレンジデーの周知を目的に、Tシャツとポスターの無料配布を行います。また、チャレンジデーの関連グッズも購入できます。

1. Tシャツ（無料）

- 1) 申込期日 2月28日（水）
- 2) 申込方法 「チャレンジデー2018 実施自治体ページ」から行います。
- 3) 配布数 下記別表のとおり
- 4) デザイン p.8 参照及び当財団ウェブサイト「事務書類・チラシ」ページにてご確認ください。
(<http://www.ssf.or.jp/about/2018/tabid/1439/Default.aspx>)
- 5) サイズ S、M、L、XL の4種類
- 6) 発送時期 4月9日（月）前後
※無料提供分Tシャツの利益を目的とした転売を禁止します。

2. ポスター（無料）

- 1) 配布数 下記別表のとおり
「チャレンジデー2018 実施自治体ページ」から希望枚数をお申込みください。
- 2) 発送時期 4月上旬

3. 関連グッズ（有料）

- 1) 申込期日 2月28日（水）
- 2) 申込方法 「チャレンジデー2018 実施自治体ページ」から行います。
- 3) 商品一覧 p.8 参照及び当財団ウェブサイト「事務書類・チラシ」ページにてご確認ください。
(<http://www.ssf.or.jp/about/2018/tabid/1439/Default.aspx>)
- 4) 発送時期 4月9日（月）前後

別表

カテゴリー	1	2	3	4	5	6
Tシャツ配布数（枚）	45	50	55	60	70	80
ポスター配布数（枚）	150	200	250	300	400	500

【Tシャツと関連グッズのデザイン】

詳細は、当財団ウェブサイト「事務書類・チラシ」ページにてご確認ください。

(<http://www.ssf.or.jp/about/2018/tabid/1439/Default.aspx>)

CHALLENGEDAY

チャレンジデー

Tシャツ M-1

吸汗速乾
ポリエステル 100%

Tシャツカラー：ネイビー
ミズノ製

お申込締切
2/28
(水)




最低発注数	サイズ	S	M	L
30枚	身丈(cm)	64	67	70
	身幅(cm)	49.5	52.5	54.5
	袖丈(cm)	19	20	21

S~XL 590円 (税別) 2XL~

※価格には消費税は含まれておりません。
※3万円以下(税別の場合)は別途実費送料がかかります。

商品に関するお問い合わせは **ミズノ株式会社** 営業開発課
TEL 03-3233-7136 担当/

CHALLENGEDAY

チャレンジデー

◆◆◆ 申込締切日 ◆◆◆
2月28日(水)
*ご発送予定時期は4月10日前後になります。

ポケットティッシュ10W

チャレンジデー
2018年3月31日(水)に開催
PR用に大人気です

最低発注数/1,000個 **10円**

のぼり

サイズ: W60×H180cm
生地: ポンジ

800円 (税別)
最低発注数/10枚

ボール

400円 (税別)
最低発注数/10本

横断幕

チャレンジデー
5月の最終水曜日に開催

サイズ: W200×H60cm 生地: ポンジ
仕様: 周部ヒートカット、裏側ハットメロ裏所

1枚よりご注文承ります **1,500円 (税別)**

フェイスタオル

100% 150円 (税別)
最低発注数/250本

サイズ: 34×83cm

各自治体様のお名前をのし紙にサービスで入れてさせて頂きます。

エコトート

100% 500円 (税別)
最低発注数/10個

サイズ: 約W45×H32×D15cm
約16×5×2.5cm (収納時)

その他アイテム

掲載品以外のご要望にもお応えします。
お気軽にお問い合わせください。

STAFF ポロシャツ

ミズノ製 50% 50%

サイズ	M	L	XL
身丈(cm)	69	72	75
身幅(cm)	51	54	58
袖丈(cm)	22	23	24

最低発注数/10枚 **1,800円**

STAFF ジャンパー

ミズノ製 100%

サイズ	L(F)
身丈(cm)	77
身幅(cm)	63
袖丈(cm)	63

最低発注数/10枚 **2,200円**

大型横断幕

標準サイズ: W440×H100cm
生地: カウチキ
※標準サイズ以外の価格となります

15,000円

STAFF キャップ

ミズノ製 100%

最低発注数/20個 **500円**

卓上ののぼり

サイズ: W10×H30cm
最低発注数/10セット **500円**

懸垂幕

標準サイズ: W100×H500cm
生地: ターボロン
※標準サイズ以外の価格となります

25,000円

商品についてのお問合せ先

ミズノ株式会社 営業開発課
TEL.03-3233-7016 FAX.03-3233-7136

9 助成金の申請

1. 申請資格
チャレンジデー2018 を実施するために自治体が構成した実行委員会が申請できます。

2. 申請方法
 - 1) 申請期間
2018年3月8日(木)～2018年3月30日(金)

 - 2) 提出書類
 - ①助成金申請書
助成金申請書と助成金申請書記入例は当財団のウェブサイトからダウンロードしてください。
助成金申請書の表紙に団体印または代表者印のいずれかを押してください。
助成対象経費一覧につきましては p. 11～13 を参照ください。
 - ②添付書類
 - ・ 実行委員会の規約または会則
 - ・ 実行委員会の組織図または名簿
 - ・ 助成金振込口座の通帳表紙・中表紙のコピー^{注1・2}注1) 初実施自治体および口座情報に変更のある継続自治体のみ対象
注2) 口座名義・番号などの情報が分かるページのコピー

 - 3) 提出方法
以下の送付先まで提出書類を郵送してください。
<送付先> 〒107-6011 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 11 階
笹川スポーツ財団 チャレンジデー担当
※当財団は 2018 年 3 月 19 日に下記へ移転いたします。
<送付先> 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 3 階
笹川スポーツ財団 チャレンジデー担当

 - 4) 助成金額
助成金額の算出方法は p. 10 を参照ください。
各カテゴリーの助成金上限額は 3 月上旬頃にお知らせします。

3. 助成金の決定
 - 1) 通知時期
4 月下旬

 - 2) 通知方法
「助成金決定通知書」により通知します。

 - 3) 提出書類
「助成金決定通知書」が届いたら、同封の「請書」に必要事項を記入押印の上、当財団に提出してください。

4. 助成金の振込
 - 1) 振込予定日
5 月 11 日(金) 銀行振込
※振込日が前後する場合がありますので、あらかじめご容赦願います。

2) 提出書類 振込確認後、「助成金決定通知書」に同封の「領収書」を提出してください。

5. 助成対象期間 2018年4月1日(日)～2018年9月7日(金)まで

※領収書の日付が上記期間外の場合、助成対象外経費となりますのでご注意ください。

6. 助成金額の算出方法

本助成金は、チャレンジデー2018の実施に伴う全ての経費を助成するのではなく、助成対象経費の一部(最大80%)を助成するものです。

助成金額は、カテゴリー一別に上限額を設け、補助率(80%)の範囲内となります。

1) 算出方法

「助成対象経費合計」×「補助率(80%)」＝「助成金申請額」

(例)

- ①カテゴリー2のA町が助成対象経費合計を300,000円として申請した場合
300,000円×80%＝240,000円
カテゴリー2の上限額310,000円を下回っているため、
助成金申請額は240,000円となります。
- ②カテゴリー2のB町が助成対象経費合計を400,000円として申請した場合
400,000円×80%＝320,000円
カテゴリー2の上限額310,000円を上回っているため、
助成金申請額は310,000円となります。

2) 助成対象経費合計に対する助成金上限額

カテゴリー	助成対象経費合計	助成金上限額
1	287,500円	以上 230,000円
		未満 助成対象経費合計の80%
2	387,500円	以上 310,000円
		未満 助成対象経費合計の80%
3	537,500円	以上 430,000円
		未満 助成対象経費合計の80%
4	612,500円	以上 490,000円
		未満 助成対象経費合計の80%
5	812,500円	以上 650,000円
		未満 助成対象経費合計の80%
6	1,162,500円	以上 930,000円
		未満 助成対象経費合計の80%

7. 助成金対象経費一覧

費目	助成対象経費内容	申請の際の留意事項
人件費 (謝金区分)	①講師・指導謝金：各種イベントで専門的指導・講義・講演を行う協力者に対する謝金 (例：著名人、スポーツ指導員、審判員)	○ <u>チャレンジデー当日のみ対象。</u> ○上限額は以下のとおり。 協力者①・②・③：10,000円 協力団体④：10,000円 ※上限を超えた超過分は対象外。 ○全て「1日あたり」での支払い。 (例)セミナー講師の場合 可：10,000円×1日=10,000円 不可：10,000円×2回=20,000円 ○原則、人件費の割合は助成対象経費合計の <u>30%以内</u> 。
	②司会・救護謝金：指導以外の役割を担う専門スタッフに対する謝金 (例：イベント司会、医師、看護師等)	
	③運営スタッフ謝金：①②以外の会場設営や受付等、活動を支援する者に対する謝金 (例：受付・設營業務、集計業務、託児業務等)	
	④団体謝金	
交通費	協力者①～③(人件費参照)に対する交通費	○協力者①～③： <u>チャレンジデー前日・当日・翌日まで対象。</u> ○交通費と宿泊費のバック料金の場合は、全額「交通費」として計上。 ○電車・バス：実費 ○自動車：ガソリン代として1日1人1台2,000円(税込)が上限。 【対象とならない経費の例】 ○日当 ○電車のグリーン料金、航空機等の特別料金 ○講師・アスリート・著名人等の移動に係るタクシー代 ※公共交通機関での移動が困難な方などのためのタクシー料金については、当財団までお問合わせください。
	セミナー・メダル認定証授与式への出席交通費(1名分のみ)	
	レンタカー代	
	有料道路代	
	駐車場代	
宿泊費	①協力者①～③(人件費参照)に対する宿泊費	○①： <u>チャレンジデー前日・当日まで対象。</u> ○②：1名分のみ・原則1泊分。2泊する場合は当財団までお問合わせください。 【対象とならない経費の例】 ○宿泊に伴う諸雑費(食費、電話代、クリーニング代等)
	②セミナー・メダル認定証授与式への出席宿泊費	
会場費	体育館、グラウンド、会議室等の施設使用料	○ <u>チャレンジデー前日・当日・翌日まで対象。</u> 【対象とならない経費の例】 ○個人が所有する施設の使用料(公共施設のみ対象) ○個人に生じる利用料金(プールの利用料金、ボウリングのゲーム料金等) ○清掃、除草、ごみ・廃棄物の処分に関する費用
	冷暖房、照明等の附帯設備使用料	
消耗品費	①行政職員・協力者①～③(人件費参照)の弁当代	○①：チャレンジデー当日のみ対象。 ○①：1人1個1,000円(税込)が上限。 ○②・③：実行委員会の会議やチャレンジデー当日に関わるものは対象。 ○④：対戦相手の分も対象。 ○⑤：1人500円(税込)が上限。 ○⑦：1個あたり単価50,000円(税込)が上限。 ※「賃借料」であれば上限額を設けていない。 ※全国共通イベント用具も含む。 ○⑧：1台まで対象、10,000円(税込)が上限。 【対象とならない経費の例】 ○①：イベント参加者に対する弁当代 ○②：酒(ノンアルコールを含む)代 ○①・②：実行委員会などの会議で提供する弁当代 ○③：代表者の私印(実行委員会の印鑑は対象) ○⑤：商品券・割引券・クーポン券等の金券類 ○⑥：副賞に該当する賞品代や景品代 ○⑧：PC、プリンター、デジタルカメラなど自治体で備えるべき設備・備品 ○対戦自治体や協力者①～④へのお土産・特産品代
	②行政職員・協力者①～③(人件費参照)の飲料代	
	③事務用品代(文房具、CD・DVD記録媒体等)	
	④自治体旗のクリーニング代	
	⑤参加賞代	
	⑥表彰品代(賞状、トロフィー等)	
	⑦スポーツ用具代	
	⑧ICレコーダー・ウェブカメラ(エール交換用)	

費目	助成対象経費内容	申請の際の留意事項
印刷費	ポスター、チラシ、プログラムなどの印刷費	【対象とならない経費の例】 ○チャレンジデーの文字やロゴの表示がないもの
製作費	広報グッズ（横断幕、のぼり、Tシャツ、ポケットティッシュ等）	【対象とならない経費の例】 ○チャレンジデーの文字やロゴの表示がないもの
広報費	新聞へのチラシ折込み代	○原則、広報費の割合は助成対象経費合計の <u>30%以内</u> 。 ○QRコードの作成費は対象。 【対象とならない経費の例】 ○チャレンジデーの文字やロゴの表示がないもの
	広報誌等への広告掲載料	
	テレビやラジオのCM代等	
	チャレンジデーの広報を目的としたウェブサイト（動画を含む）の作成費	
通信運搬費	①電話・FAX等の通信料	○①：チャレンジデー当日のみ対象。 ○②：セミナー・メダル認定証授与式後1週間以内まで対象。 【対象とならない経費の例】 ○笹川スポーツ財団への書類等送料
	②書類・礼状等の郵送料	
	③物品（自治体旗や特産物など）の送料	
	④物品購入等に係る送料	
賃借料	電話・FAX・PC等の借上料	○チャレンジデー前日・当日・翌日まで対象。 【対象とならない経費の例】 ○個人の所有物に対する借上料
	スポーツ用具の借上料	
	機材（マイク、スピーカー、AED等）の借上料	
保険料	スポーツ傷害保険、賠償責任保険等	○チャレンジデー当日のみ対象。
委託費	集計・報告やプログラム実施に係る業務委託等	○ <u>委託費の割合は助成対象経費合計の50%以内</u> 。

注）振込手数料は生じた費目に計上。振込依頼書のコピーと併せて内訳のわかる書類（請求書・納品書等）のコピーを必ず添付。

8. 領収書提出の際の留意事項

費目	領収書提出の際の留意事項
人件費	<p>謝金とは、金銭をもって協力者に対する謝意を表すために支払う経費です。</p> <p>○菓子折りや物品を謝礼として渡す場合、その物品購入にかかる経費は対象外。</p> <p>助成対象となる謝金には上限額が定められていますが、「満額を支払わなければならない」という基準ではありません。</p> <p>○領収書には、領収者の「氏名（団体名）」「住所」「電話番号」「押印」が必要。</p> <p>○1つの団体から5人の指導者に協力を得た場合、5人分全ての上記情報が必要。</p>
交通費	<p>○原則、領収書のコピーを提出。</p> <p>ただし、実費が証明できる書類（ウェブサイトの経路検索結果等）で代替可。</p> <p>○交通費と宿泊費のバック料金の場合は、全額交通費として計上。</p> <p>○出張命令書や行政の支払証のみの添付は対象外。</p> <p>○ガソリン代は領収書のコピーに加え、当該領収書の余白に以下の情報を明記してください。</p> <p>使用目的、経路、走行距離、当日の1Lあたりの価格</p> <p>（例）参加票回収のため、A地区～B地区、20km、120円</p>
宿泊費	<p>○原則、領収書のコピーを提出。</p> <p>ただし、実費が証明できる書類（旅行会社からの請求書等）で代替可。</p>
会場費	<p>○荒天等で生じたキャンセル料は当財団までお問合わせください。</p>
消耗品費	
印刷費	<p>○領収書には、購入物の「品名」「単価」「数量」が必要。</p> <p>○但書が「品代」「事務用品一式」等の曖昧な表記の場合は対象外。</p> <p>ただし、別途、詳細が明記された納品書・請求書の提出があれば対象。</p>
製作費	<p>○翌年度のチャレンジデーでの利用を目的とした物品等の購入・製作は対象外。</p> <p>原則として、当該年度のチャレンジデーでの利用に限る。</p>
広報費	
通信運搬費	-
賃借料	<p>○荒天等で生じたキャンセル料は当財団までお問合わせください。</p>
保険料	<p>○領収書には、契約内容の「日時」「人数」などが必要。</p> <p>領収書に記載がない場合は、契約内容の資料を提出してください。</p>
委託費	<p>○助成金対象経費一覧の内容に則って支出するようにしてください。</p> <p>場合によっては、費用及び内容の内訳のご提示をお願いすることがあります。</p>

10 事業完了報告書の提出

1. 提出方法

1) 提出期日 **2018年10月15日(月)**

2) 提出書類

①事業完了報告書

様式は当財団のウェブサイトからダウンロードしてください。
必要事項を記入後、A4用紙に両面印刷で出力し、押印の上郵送してください。押印は**団体印または代表者印**のいずれかを押してください。

②アンケート

アンケート記入後、A4用紙に両面印刷で出力し、郵送してください。

③領収書のコピー

全てコピーをお願いします。原本は実行委員会にて大切に保管してください。支出科目ごとに取りまとめ、A4用紙に貼り付けてください(図1)。

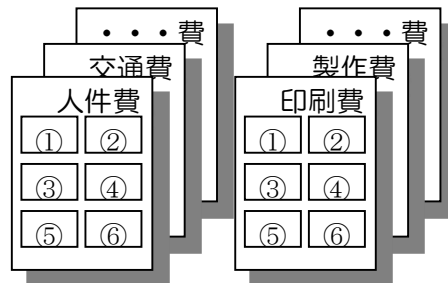


図1 領収書(コピー)の取りまとめ方

3) 提出方法

以下の送付先まで提出書類を郵送してください。

<送付先> 〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル3階
笹川スポーツ財団 チャレンジデー担当

2. 領収書の取り扱い

1) 宛名

申請書の差出人である「実行委員会名」で統一してください。「〇〇町公民館」や「〇〇市教育委員会」となっている場合、助成対象外経費となります。

2) 留意事項

費目ごとの留意事項はp.11~13を参照してください。

3. 助成金額の確定

1) 確定時期

2018年10月~12月

2) 確定通知書

事業完了報告書に基づき助成金額を確定します。確定額が決まり次第、確定通知書を送りますので、大切に保管してください。

3) 返還依頼通知書

概算払額よりも確定額が下回った場合、返還金が生じます。返還依頼通知書を送りますので、発信日から1週間以内に当財団の指定口座へお振込みください。

11 全国共通イベントの実施

1. 基本ルール

- 1) 目的
チャレンジデーに取り組む各自治体の参加者が、共通のルールにより参加できるスポーツイベントを実施しています。全国のチャレンジデー参加者相互の交流を広げ、さらにはチャレンジデーをより一層盛り上げることを目的としています。
- 2) 実施種目
・ ロープ・ジャンプ・X
・ ロープ・ジャンプ・EX
・ スポーツごみ拾い
・ 空き缶積み上げ
各種目のルールについては、当財団ホームページをご覧ください。
<http://www.ssf.or.jp/about/tabid/440/Default.aspx>
※全国共通イベントの用具代は助成金の対象となります。詳細は「助成金対象経費一覧」の「消耗品費」(p.11 参照)を確認してください。
- 3) 参加条件
参加種目数と参加チーム数に制限はありません。
- 4) 申込方法
「チャレンジデー2018 実施自治体ページ」の『共通イベント申し込み』より参加種目と参加チーム数を入力してください。
申込期間：3月中旬～5月中旬
- 5) 結果の報告
各種目の参加チームごとにチーム名と最高記録を報告してください。
報告内容：連絡先、チーム名、記録、実施場所など
報告期間：5月31日(木)～6月8日(金)
※報告方法は別途メールニュースでご案内いたします。
- 6) 結果発表
全ての参加チームによる報告終了後、メールニュースにて結果をお知らせします。また、「まちづくりセミナー・メダル認定証授与式(8月下旬予定)」にて、各種目の上位3位(ロープ・ジャンプ・Xは5位まで)を表彰します。



12 ワールドチャレンジデーへの参加

海外の自治体と対戦する「ワールドチャレンジデー」には、世界の多くの国々が参加し、国境を越えてスポーツを通じた交流が行われています。ワールドチャレンジデーでは、国内のチャレンジデー同様、人口が同規模で異なる国の自治体間で対戦が行われます。

1. 基本ルール

1) 主催 TAFISA (国際スポーツ・フォー・オール協議会 本部：ドイツ)
※TAFISA(The Association For International Sport for All)

2) 参加条件 国内のチャレンジデーに参加している自治体

2. 申込方法

参加希望の自治体は、当財団まで連絡してください。

当財団は、ワールドチャレンジデーの実施における日本の窓口となっています。参加申込からワールドチャレンジデー当日まで、皆様をサポートいたします。

申込期間：2月14日(水)～3月5日(月)

3. 対戦方法

対戦相手はTAFISAによる抽選で決定します(発表は5月上旬予定)。対戦自治体によっては日本との時差が生じますが、各自治体の午前0時～午後9時の参加率で対戦が行われます。

4. 結果発表

チャレンジデー終了後、国内のチャレンジデーの参加率を当財団がTAFISAへ報告します。対戦結果の発表は6月下旬を予定しています。

5. 贈呈品

参加自治体には「Certification of Participation」(賞状)、さらに対戦に勝利した自治体には「Winner's Certificate」(賞状)が贈られます。

13 オリンピアン・パラリンピアン等の派遣

1. 目的

チャレンジデー当日、トップアスリート(現役・引退など問わず)がイベントやプログラムに参加して指導や講演を行い、プログラムの充実と地域住民との交流を深めることを目的としています。子ども達や地域住民にトップアスリートを身近に感じてもらうことで、運動やスポーツの習慣化のきっかけとなります。

2. 派遣者

出身地や現在の居住地など、自治体に縁の深いオリンピック・パラリンピアンやプロスポーツ選手、その他著名人を派遣します。

(協力予定：日本オリンピックズ協会など)

3. 申込方法

「チャレンジデー2018実施自治体ページ」から派遣希望の有無、希望種目等をお申し込みください。※派遣元との調整の結果、ご希望に添えない場合もごさいますので、あらかじめご了承ください。

申込期間：2月14日(水)～3月5日(月)

14 チャレンジデーアワードの授与

1. アワードの趣旨 チャレンジデーアワードは、優れた成果を収めた各自治体の努力を表彰するものです。
2. アワードの紹介
- 1) 大賞 全実施自治体の中で、最も参加率の高かった自治体に贈られる賞
- 2) 新人賞 初実施自治体の中で、最も参加率の高かった自治体に贈られる賞
- 3) 参加率アップ賞 2017年度から継続して実施している自治体の中で、2017年度と比較して最も参加率の上がった自治体に贈られる賞
- 4) カテゴリー優秀賞 各カテゴリー（1～6）で最も参加率が高かった自治体に贈られる賞
- 5) ベストPR賞 全実施自治体の中で、最も多く新聞や雑誌、テレビ・ラジオなどの報道機関に取上げられた自治体に贈られる賞

<エントリー方法>

- ・報告用紙（報道実績リスト）に、日付、媒体、紙名・局名・露出部分（例. 朝刊／3面）を記入してください。
 - ・紙媒体は、掲載部分のコピーを郵送してください。電子データで送る場合は、スキャンしたファイルをメールに添付するか、ファイルが大容量の場合はファイル無料転送サービス（宅ふぁいる便・データ便など）を利用してください。
 - ・テレビ・ラジオなどでの放送は、映像・音声データをご郵送いただくか、上記同様ファイル無料転送サービスを利用してください。
- ※基本的に、1日1社1媒体を対象といたします。

<提出様式> 5月中旬にお送りするメールニュースでお知らせします。

<提出締切> 6月8日（金）

<対象外>

- ・市町村の広報紙
- ・実行委員会で製作したチラシ・ポスター
- ・広報費を要する新聞掲載
- ・ケーブルテレビなどでのスポットCM

2017年度受賞自治体：山口県 宇部市

積極的なPR活動の結果、地方紙をはじめとする新聞、テレビ、ラジオなど、合計41件の報道実績がありました。

2016年に引き続き2年連続の受賞です。

6) 広報アイデア賞 チャレンジデーを広く周知するために、ユニークな広報活動を実施した自治体に贈られる賞

<エントリー方法>

- ・チャレンジデーを周知するために実施した広報戦略・方法について、報告用紙に詳細を記入してください。
- ・報告用紙とあわせて広報物（あれば）を郵送してください。

<提出様式> 5月中旬にお送りするメールニュースでお知らせします。

<提出締切> 6月8日（金） ※提出は任意です

2017年度受賞自治体①：東京都 江戸川区

チラシ配布、ポスター掲示、PRパネル展示、ケーブルテレビ等の様々な広報ツールを活用し、32万人以上の参加者を集めました。

2017年度受賞自治体②：広島県 三次市

「日めくりチャレンジ31」（カレンダー）を作成し、気軽に取り組める1日1ストレッチ／トレーニングを紹介することで、チャレンジデーをきっかけとした住民の運動の継続を促しました。

7) 笹川スポーツ財団特別賞

チャレンジデーの普及促進に貢献し、住民のスポーツ参加を積極的に推進した自治体・団体に贈られる賞

※該当がない年もあります。

8) チラシ大賞

オリジナリティにあふれ、広報ツールとして優れたチラシを作成した自治体に贈られる賞

3. トロフィーの授与

受賞自治体には、後日記念のトロフィーが授与されます。

「まちづくりセミナー・メダル認定証授与式（8月下旬予定）」にて、表彰します。まちづくりセミナー前に、授与のために自治体を訪問することもあります。



参加率アップ賞の授与（秋田県大仙市訪問：2017年）

15 まちづくりセミナー・メダル認定証授与式への参加

1. 開催趣旨
当財団では、研究・調査の重点テーマのひとつとして「スポーツとまちづくり」を掲げており、チャレンジデー実施自治体や国の自治体のスポーツ振興担当者と「スポーツとまちづくり」に関する様々な事例や課題などを考える機会として、毎年8月～9月に年一回セミナーを開催しています。
第2部のメダル認定証授与式（情報交換会）では、近隣自治体や対戦自治体との交流を図ることができます。
2. 開催日
8月下旬～9月上旬
3. 会場
都内
4. 対象者
チャレンジデー実施自治体・実施検討自治体のスポーツ振興担当者、スポーツに関心のある自治体関係者、スポーツ振興団体関係者、報道機関など
5. 参加費
無料
6. 参加申込
当財団ホームページより申し込んでください（8月中旬締切）。
※まちづくりセミナー・メダル認定証授与式出席における交通費と宿泊費（実費）1名分が助成金の対象となります。
7. 定員
約130名（先着順）
8. 内容
第1部：まちづくりセミナー
毎年、異なるテーマで事例紹介とパネルディスカッションを行います。

例) 2017年度テーマ

「地域スポーツイベントの波及効果～チャレンジデーを例に～」

事例発表：秋田県 由利本荘市

東京都 江戸川区

大分県 豊後高田市

第2部：メダル認定証授与式（情報交換会）

各自治体に、参加率に応じて金・銀・銅のメダル認定証を授与します。また、p. 17～18の各アワードが該当自治体の代表者に授与されます。

※軽食を用意しますので、奮ってご参加ください。



更新履歴

バージョン	作成・更新日	改版箇所
Ver. 1.1	2018年3月8日	新規作成
Ver. 1.2	2018年8月24日	P1：完了報告書提出期限変更 P10：助成対象期間変更 P14：完了報告書提出期限変更